

---

# 紫の記念日

secretinfores

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

紫の記念日

### 【Nコード】

N4397I

### 【作者名】

secretinforest

### 【あらすじ】

ミサが心待ちにしていた「記念日」。

紫で満ち溢れた記念日に、ミサが下した決断は…。

## 記念日

心の闇は、誰しもが持っているぬぐい去れない一種の運命なのかもしれない。

そんなことを考えながら、今日という記念日をミサは迎えた。ミサは、生まれてからずっと今日という日を待ち望んでいたのかもしれない。なぜなら、今日という日こそが、自分が唯一人間として生きた証になるかもしれないのだから…。

けたたましく鳴り響く蝉時雨が日常に入り込んできそうな、初夏の朝。ミサはいつも通り身支度を整えて、何事もなかったように家を出た。ミサの異変に誰も気づくはずはなかった。なぜなら、周りの人間にとって今日という日は、長い人生におけるごく普通のありふれた日常の一部でしかないからだ。でも、ミサにとっては違っていた。いつもと変わらぬメイク、そしてスーツ。仕事用の笑顔だって簡単に出すことができる。そんな仕事モードに自分を改造していく過程はいつもと変わりなく、鏡の前に映し出された完成されたミサは、毎日と何ら変わりはなかった。もし、仮に誰かミサの言葉を理解できる人間が近くにいたとしたら…、きっとミサの心の中に潜む何物かに気付いてあげられたのかもしれない。だが、残念なことにそんな人間は誰一人として存在しなかった。「記念日」という言葉だけが脳裏に響きわたり、今まで望んでいたことが達成されるかもしれないその瞬間を想像するだけで、ミサの心は興奮し、そして癒されさえした。それは彼女自身が深く熱望したことであり、7月19日という日を、あえて記念日に設定したのも彼女の判断だった。7時45分、長原発の始発に乗車し、座って読書をするのがミサ

の常だった。しかし、なぜか今日は電車の中にミサの姿は見当たらなかつた。自宅から駅までの徒歩15分間の間で、ミサは自分自身への問いかけの答えと共に、自分の願望を成就させたのだった。

7月5日午前7時38分。ミサは遂に自分の夢とさえいえる願望を成就させた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4397i/>

---

紫の記念日

2010年11月2日03時33分発行